

大網白里市立国保大網病院

外科専攻医（後期研修医）研修プログラム

1. 当院の外科研修の特徴は、手術症例は原則すべて執刀者になってもらうことです。日本外科学会専門医・指導医、日本消化器外科学会専門医・指導医、日本肝胆膵外科学会高度技能指導医が症例に応じ第1助手となり指導します。
2. 過去3年間の研修医が術者として執刀された手術は、大手術：50－70例、中手術：60－80例、小手術：70－90例でした。
3. 第1助手となった上級医とともに術後管理を行います。
4. 週に1日、術前術後カンファレンスを開き、症例提示、手術報告、並びに術後経過・退院要約をプレゼンテーションします。
5. 消化器検査・観血的治療を担当します。過去3年間の研修医が施行・担当した消化器検査・観血的治療は、上部消化管内視鏡検査：300－350例、下部消化管内視鏡検査：180－200例、腹部超音波検査：230－280例、ERCP：5－10例、PTBD, PTGBD：10－12例でした。
6. 大腸ポリープの内視鏡下粘膜切除を担当します。過去3年間の研

修医が施行した大腸ポリープの内視鏡下粘膜切除は 140－160 例  
でした。

7. 週に 1 日、外科外来を担当します。外科外来ブースの隣では上級  
医が診察しており、適宜助言を仰げます。
8. 学術集会への参加、および発表を義務としています。また、医学  
会誌への論文投稿を指導します。
9. 当直は月に 2－3 回です。